

議会のあり方調査特別委員会 広聴検討分科会 記録

開会年月日	平成 28 年 11 月 7 日
開会時刻	午前 9 時 58 分
閉会時刻	午前 11 時 11 分
出席委員名	◎宿 典泰 ○野崎 隆太 上村 和生 野口 佳子
	黒木騎代春 西山 則夫 浜口 和久 工村 一三
	世古口新吾
	中山 裕司 議長
欠席委員名	—
署名者	—
担当書記	山口 徹
協議案件	・ 議会アンケート結果について
	・ 今後の広聴のあり方について
説明者	議会事務局 山口調査係長、中野主事

会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り、当分科会の検討項目「議会アンケート結果について」と「今後の広聴のあり方について」を議題とし、その協議内容は以下のとおりでした。

協議の内容

1 議会アンケート結果について

(委託業者の集計を基に、他市議会のアンケート結果を参考に集計結果を事前配布)

- ・アンケート結果の見せ方を協議した結果、円グラフや表を選ぶ、場合によっては二種類掲載するなど、他市議会の実施状況を参考に市民にわかりやすい見せ方を、正副会長及び事務局に一任することになった。
- ・アンケート結果のまとめについては、設問内容から分析というレベルは難しいため、客観的なまとめを他市議会の実施状況を参考に、正副会長及び事務局に一任となった。
- ・アンケート結果の広報周知について、市議会だよりと同様に冊子を作成し各戸配付をする等の意見があり、予算対応等、事務局に確認依頼があった。

※アンケート結果についてのまとめ、及び広報周知の方法について再度確認するために、11月中に再度分科会を開催することを確認した。(日時、後日調整)

2 今後の広聴のあり方について

(本分科会の検討事項となっている議会報告会・意見交換会について協議)

- ・前々回の本分科会でも提案があったが、会長から以前実施した議会報告会とは違った形など、広聴の手法等を検討する必要があることを説明。
- ・今年、実施した商工会議所との意見懇談会のように、特定の団体との広聴の場を持つというやり方は、テーマも絞りやすく、計画しやすいとの意見があった。
- ・選挙権が18歳になったことや、若い世代に政治や行政に関心を持ってもらうために皇學館大学へ話をもっていくことも、前向きに検討していくことを確認した。
- ・西山議員から新成人の実行委員会の方と意見交換のような場がもてないかとの意見があり、一度、正副会長と事務局で教育委員会を通じ、話をもっていくことを了承確認した。

以上のとおり、分科会において協議されたため、アンケート結果のまとめ(案)を早急に準備すること、アンケート結果の市民への周知方法について予算対応等を検討することを確認し、本日の分科会を閉会した。

上記署名する

平成28年11月7日

分科会長